

平成18年度全国大会

「日本社会を支える建設産業～ものづくりを担う建設専門業～」

●日時：平成18年11月9日(木) 13:00～16:10

●場所：文京シビックホール 大ホール (約1,000名参加)

◎主催：(社)建設産業専門団体協議会

後援：国土交通省、厚生労働省

協賛：(財)建設業振興基金、(独)勤労者退職金共済機構、(財)建設業福祉共済団、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)、北海道建設業信用保証(株)、(社)日本建設業団体連合会、(社)全国建設業協会、(社)日本建設業経営協会、(社)全国中小建設業協会、建設業労働災害防止協会 (順不同)

◎開催趣旨

建設産業は、国民に住宅・社会資本の建設生産物を提供する重要な役割を担っており、その必要性は今後も変わらない。建設専門業界は、ものづくりの中核的担い手であり、根幹である。建設産業を巡っては、談合、ダンピング、耐震偽装等が発生し、国民の信頼が揺らいでいるとともに、産業に携わる者も今後の先行きに不安を抱えている。業界を取巻く環境は厳しい状況であるが、ものづくりの根幹としての誇りと責任を持って、現状の諸問題に真摯に取り組み、改善していくことを模索する。

◎開催概要

- ・第一部式典では、才賀清二郎大会実行委員長の挨拶の後、来賓を代表して、国土交通副大臣 望月義夫氏、厚生労働省職業安定局長 高橋満氏、日建連会長 梅田貞夫氏からご挨拶を頂戴しました。
- ・第二部基調講演では、(財)リーバーフロント整備センター理事長 竹村公太郎氏から「日本社会を支える建設産業」をテーマにインフラ整備の必要性等についてお話いただきました。
- ・第三部意見発表では、京都大学大学院工学研究科助教授 古阪秀三氏から「ものづくりも担う技能労働者」をテーマに技能労働者の現状や処遇の改善方策について発表いただきました。
- ・第四部トーク&コンサートでは、歌手 すがはらやすのり氏による「ふれあいのある街づくり」をテーマにした歌とトークをしていただきました。
- ・大会は、梅田巖大会実行副委員長の挨拶で閉会いたしました。